

令和4年度 第3回 江東区みどりの基本計画推進会議への意見書への考え方

日 時 令和5年3月17日(金) 14:00~16:00

場 所 江東区文化センター3階 第4、5研修室

◆議題1 各事業進捗について

主なご意見	考え方
<p>コロナ禍の影響でストップしていた事業が、令和4年度再び動き始めたことが感じられた。</p> <p>河川沿いのみどりは都市軸として重要な役割を果たすと考えている。護岸の耐震化と共に生み出した緑地が江東区をみどりの中の都市とすることにつながることを期待する。</p>	<p>コロナ禍の影響により休止となっていた重点プロジェクト事業については、令和5年度より推進してまいります。</p> <p>水辺・潮風の散歩道につきましては、引き続き整備を進め、区民が水辺に親しめる環境を充実させることで、CITY IN THE GREEN（みどりの中の都市）の実現につなげてまいります。</p>

◆議題2 みどりの活用事例（計画以外）について

主なご意見	考え方
<p>これまでは、このような報告はなかったと思います。</p> <p>土木部以外の部署でも、みどりの活用が積極的に進むことを願っています。</p>	<p>江東区みどりの基本計画で定めている施策を進めるとともに、他分野のみどりの活用についても引き続き活性化できるよう取り組んでまいります。</p>
<p>東大島の地元企業である「パラマウントベッド」では、1階の打合せスペースを移動させ、旧中川側の壁を抜いて大きな窓にし、川及び対岸のみどりを見せる眺望を活かすリフォームを行った。みどりの活用例として一度取材して欲しい。</p>	<p>いただいた事例を含め、官民学を問わず先進的な取り組みに関する情報収集を行い、提供するなど、今後の参考にさせていただきます。</p>

◆議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

主なご意見	考え方
<p>色々なみどりに関する活動を行っている団体が集まり、地域の人々の意見を聞き試みを行った。その結果は、それぞれが視野の異なる我々にも気づきを与えるものだった。</p> <p>自分は河川の視点でどうみどりを活かしたら良いかを、今後も考えていきたいと思う。</p>	<p>引き続き部会活動についてご協力をお願いいたします。区内で様々な活動を行っている区民や団体に加えて、そこに住み生活している区民の意見を反映できる仕組みづくりなどについて研究してまいります。</p>

◆議題4 コミュニティガーデン事業の活動要件変更について

主なご意見	考え方
<p>周知方法として、こうとう区報や区ホームページ、所管課窓口にて周知していくとのことでしたが、例えば、環境フェアや区民まつりをはじめとした地域イベントにおいても積極的に来場者の皆さまへPRされてはいかがでしょうか。</p>	<p>今後、各種イベントなども活用した積極的なPR方法について検討してまいります。</p>
<p>活動要件を緩和することは、一層普及を進める効果が出ると考える。それぞれの参加団体が、早く自立することを今後も手助けしていきたい。</p>	<p>今後、地域での活動の核となる人材の育成や活動団体間のよりきめ細かな連携を目指して、地域ごとの交流会などを企画し、区としても活動を支援してまいります。</p>

◆自由記載（補足など）

主なご意見	考え方
<p>推進会議に出席して3年になります。これまで、区が実施する事業の報告が主な議題になっていると思いますが、それだけだと区が行っている事業をチェックしているだけになってしまうと思います。そのことも、もちろん大切だとは思いますが、来年ないしは、2年後、3年後の事業展開（＝少し先の将来）についても話し合うことができれば、推進会議の意義もより大きくなると思います。</p>	<p>推進会議の目的の一つとして事業の進捗管理があるため、事業の評価・点検を丁寧に行ってまいります。今後の事業展開につきましては、現行計画の評価を確実に行うことで、次期計画策定に向けて準備していきたいと考えております。</p>
<p>部会では生物多様性が、大きなテーマとして浮かび上がってきている。水辺からまちを見ると、実に多様な環境を持つ江東区であり、温暖化対策としても、江東区として注力せざるを得ない。みどりの基本計画推進会議でも意見が交わされたが、本会議はセクションを超えた会議だからこそ、検討できる問題ではないかと考えている。</p>	<p>生物多様性に関して、世界的な動向の変化があることは承知しております。まずは、理解の促進が必要であると考えており、今後研究を深めてまいります。</p>